

# 『フェア麻雀・スタンダードフレームワーク (FMSF)』構想提案書

## 副題：オンライン麻雀の公正性と信頼性を再設計する制度的提言

### まえがき：本提案書に寄せて

この提案は、オンライン麻雀の未来をより健全で持続可能なものにするための建設的な提案です。

背景には、現行の運営体制やガイドラインが想定しきれていない課題があり、それによりプレイヤーが深刻な精神的負担を負う事例が発生していることがあります。私自身、その一例を経験しました。段位を背景とした言葉の暴力や、それを防ぎきれない仕組みにより、長年楽しんできた麻雀が心理的に困難なものとなってしまいました。

これは個人攻撃や特定企業の批判を目的としたものではありません。むしろ、このような事態が「構造的な問題」として業界全体に存在し、持続可能性やSDGsの観点から見ても改善が必要であると考えています。

### 1. はじめに：麻雀の信頼構造に迫る危機

オンライン麻雀は、数百万人が楽しむ知的競技であり、eスポーツとしての認知度も高まっています。しかし、その裏で「公正性への疑念」や「不透明性に基づく不信感」がプレイヤー間に蔓延しています。この構造的問題を放置すれば、業界全体の健全性や将来性が損なわれかねません。

### 2. 問題提起：ブラックボックスという「信頼の危機」

現状のオンライン麻雀は、運営者が「完全に公正である」と宣言することに依存する、いわばブラックボックス構造にあります。

しかし、科学的な競技である以上、その公正性は「検証可能性」によって裏付けられなければなりません。現状では、第三者による検証体制が整っておらず、これが疑念と炎上の温床となっています。

### 3. 解決策：三位一体の『FMSF』(Fairness Mahjong Standard Framework) 構想

この構造的な信頼の危機を克服するため、技術・視覚・コミュニティの三側面からなる多層的な信頼構築戦略『FMSF』を提案します。

#### 3.1 技術：標準化・監査可能な基幹アルゴリズム

技術的に揺るぎない公正性の土台を築きます。

**VRF (Verifiable Random Function) :** 対局ごとに、その牌山が公認アルゴリズムで正しく生成されたことを証明する「暗号学的証明書」を発行し、誰でもその正当性を検証可能にします。

**プレイヤー参加型乱数生成 :** 各プレイヤーが対局開始時に入力するシード値のハッシュを合成 (XOR) することで、運営者すら介入できない、参加者全員で作り上げる公平な乱数を実現します。

**第三者機関による監査 :** iGaming 業界（オンラインポーカー等）で実績のある独立監査機関が、アルゴリズムのソースコードレベルでの監査を行い、定期的にその公正性を認証します。

#### 3.2 視覚：トラスト・ウォーターマークの実装

複雑な技術的保証を、誰もが一目で理解できる安心のシンボルへと変換します。

ウェブサイトの安全を示す「鍵マーク (SSL 証明書)」のように、FMSF 認証済みであることを示す統一

マークを導入します。

ゲーム画面、対局ログ、そしてプレイヤープロフィールに表示することで、その対局や実績が公正な環境下で行われた「公式の証」として機能します。

### 3.3 コミュニティ：オープンデータと統一ログ規格

業界全体の中央集約的な監査と、分散的なコミュニティ監視が相互作用する、自己修正能力を備えた信頼のエコシステムを創出します。

対局ログを統一フォーマット（JSON/CSV）で標準化し、API を公開します。

これにより、世界中の研究者や開発者が、匿名化された膨大な対局データにアクセスし、独自の統計分析や新しい学習ツールを開発できる環境を提供します。

## 4. 社会的意義：これは「コスト」ではなく「戦略的投資」

FMSF の導入は、単なる「技術改善」や「コスト負担」ではなく、業界全体の信頼性と持続可能性を確保するための社会的インフラへの投資です。

### 4.1 ユーザーの権利と安全性

オンライン麻雀は、数百万人が日常的に利用するデジタル娯楽であり、その公正性はデジタル公共空間における基本的権利の一部と考えるべきです。

- ・プレイヤーは「説明可能な公平性（Explainable Fairness）」を享受する権利を持ちます。
- ・この権利を守ることは、消費者保護法の理念や国際的なデジタル倫理基準に沿うものです。

### 4.2 国際的な信頼基準との接続

欧米のオンラインポーカーやカジノ業界では、第三者認証を伴う RNG（乱数生成）監査が必須要件となっています。

- ・麻雀業界がこの水準に到達することは、**国際eスポーツ市場での競争力強化**に直結します。
- ・ISO 規格・iGaming 規範との整合性を図ることで、日本発の麻雀が「世界基準の公正性」を担保できる知的競技として位置づけられます。

### 4.3 SDGs・企業倫理との親和性

FMSF は、SDGs の目標 16（平和と公正）および目標 9（産業と技術革新）に直結します。

- ・公正で透明な仕組みを導入することは、デジタル社会における「倫理的責任」を果たす行為です。
- ・ESG（環境・社会・ガバナンス）経営を掲げる企業にとって、FMSF の採用は「社会的評価の向上」につながります。

### 4.4 経済的・文化的なリターン

**プレイヤー**：疑心暗鬼から解放され、敗北を「運」と「実力」として健全に受容できることで、競技志向が強まり、麻雀文化全体の質が向上します。

**運営事業者**：「牌操作」疑惑への対応という不毛な負担から解放され、信頼をブランド資産に転換できます。

**スポンサー**：リスクのないクリーンな競技環境への確信的な投資が可能になり、大手スポンサーの参入が促進されます。

**メディア・教育機関**：FMSF 認証を前提とした公式データは、データサイエンスやゲーム理論の教育リソースとして活用でき、社会的評価を高めます。

## 5. 実現戦略：業界合意形成と段階的導入

本提案を理念にとどめず、業界全体における信頼構築のため、現実的かつ法的・倫理的にも妥当なステップを提示します。

### 5.1 コンソーシアム設立

FMSF は、一社の独占的な仕組みではなく、業界全体で共有される「公共財」でなければなりません。そのため、主要オンライン麻雀事業者、競技団体、技術専門家、法律・情報セキュリティの専門家、学術機関を含む中立的な推進組織を設立します。この組織は、アルゴリズムの透明性、個人情報保護、フェアプレーの保証といった法的・倫理的な要件を満たす標準を策定します。

### 5.2 パイロットプログラム

まず、一部の公式大会や限定モードで試験導入します。この段階では以下を重点的に評価します：

- ・技術的な信頼性（VRF 等の暗号技術による証明）
- ・プレイヤーの体験改善（不信感の低減、競技集中度の向上）
- ・法的コンプライアンス（消費者保護、データ保全）

この成功事例は、他の事業者や大会における導入を促進する最大の根拠となります。

### 5.3 業界標準化と認証制度

パイロットで得られた知見を基に、第三者認証を伴う標準化を進めます。この認証は単なる技術保証にとどまらず、e スポーツ倫理規範や国際的なフェアプレー指針とも整合性を持たせます。将来的には、主要な競技大会やe スポーツイベントでの採用を「強く推奨」し、公正性担保を消費者保護の一環として制度化します。

## 6. 結論：信頼というインフラへの共同投資

オンライン麻雀は、日本が世界に誇る知的文化であり、その未来は「信頼」という見えない基盤にかかっています。現状、この基盤は運営企業の一方的な宣言の上に成り立ち、プレイヤーが疑念を抱けば、その行き場はありません。こうした構造は、**健全な競技としての発展における最大のリスク要因**です。

私は一人のプレイヤーとして、このリスクが現実化したときの痛みを知っています。だからこそ、同じ思いをするユーザーを二度と生み出たくありません。これは、個人の怨嗟や特定企業への批判ではなく、**業界全体に共通する構造的課題**です。

FMSF の導入は、「コスト」ではなく「未来への共同投資」です。

- ・ユーザーにとって：牌山生成の透明化と第三者認証により、敗北を健全に受け止め、戦術・技術の研鑽に集中できる環境が生まれます。
- ・運営企業にとって：「不正疑惑」への対応という不毛な負担から解放され、信頼をブランド価値に転換できます。
- ・業界にとって：FMSF は、M リーグや国際大会で採用される「競技の公正基準」として、世界に誇れる標準規格となります。スポンサーや自治体の信頼を得ることは、巨大な経済的価値をもたらします。

一方、この取り組みを怠れば、何が起こるのでしょうか？

- ・公平性を疑う声は増大し、SNS 炎上や不買運動が常態化する
- ・e スポーツとしての認定が遅れ、スポンサー企業が競技から撤退する

- ・国際基準を満たせず、日本発の麻雀がグローバル競技としての地位を失う

麻雀は偶然と必然が織りなす知的競技であり、その魅力を守るには、**偶然を「疑念」ではなく「確率」として受け入れられる制度**が必要です。

その制度設計の青写真こそが、このフェア麻雀・スタンダードフレームワーク（FMSF）です。

本提案が、業界関係者の皆さまの共感と議論を呼び、麻雀が未来の世代にまで愛される持続可能な競技文化として確立されることを、心から願います。